

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成27年												平成28年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月 ~3日	7月 ~10日	7月 ~17日	7月 ~24日	7月 ~31日	8月 ~7日	8月 ~14日
カンピロバクター	117	100	86	166	99	138	164	131	131	116	64	68	72	56	111	153	116	189	33	58	57	27	39	38 (40)	24
病原性大腸菌	227	185	210	229	130	190	195	127	95	134	147	174	140	146	163	167	150	157	29	48	62	51	50	52 (57)	32
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0
サルモネラ	9	2	5	3	7	9	20	37	14	36	19	11	12	4	2	8	12	4	5	5	5	3	1	9	4
黄色ブドウ球菌 MSSA	44	32	29	27	19	31	37	26	18	26	15	25	23	20	25	14	19	32	1	5	4	3	1	5	10
黄色ブドウ球菌 MRSA	20	18	12	15	15	21	15	19	14	17	22	21	11	11	16	21	20	27	2	10	4	2	6	6 (7)	4
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
その他	3	1	1	0	0	2	7	8	2	1	1	0	0	1	0	3	3	1	2	2	2	2	1	1 (2)	1
ロタウイルス	2	0	5	15	3	2	0	0	0	0	1	2	4	19	29	24	29	1	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	1	4	0	3	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
ノロウイルス	38	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	20	20	5	9	2	2	2	2	1	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
*その他の1件はアエロモナスでした。

広島県感染症発生動向週報

平成28年第32週(8月8日~8月14日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	11	結核	11	3	1	2	1	1	2	1
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1			1				
四類	4	巨型肝炎	2				1			1
		日本紅斑熱	2			1				1
五類全数	5	アメーバ赤痢	2	1				1		
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2					2		
		梅毒	1			1				

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第32週 8/8~8/14)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

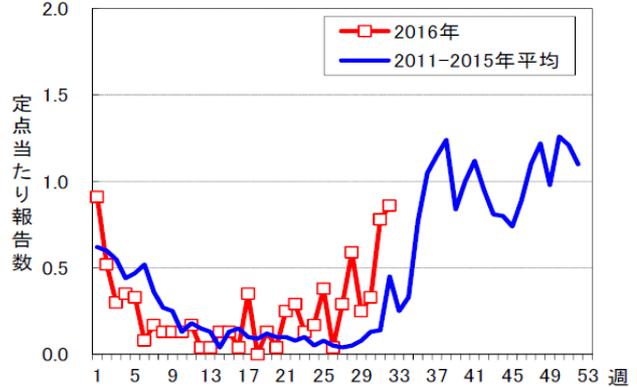
1. RSウイルス感染症

定点当たり0.86人と、例年同時期に比べて報告数が増えています。

RSウイルス感染症は、RSウイルスによって起きる急性呼吸器感染症です。鼻かぜのような軽い症状から細気管支炎や肺炎などの重い症状まで様々ですが、年齢が低いほど重症化しやすいため、注意が必要です。手洗い・うがいの励行など感染予防を心がけましょう。

第32週はお盆期間中であり、医療機関の休診の影響で、実際の患者数よりも少なく報告されている可能性があります。そのため、「定点把握感染症報告状況(週報対象)」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

RSウイルス感染症の流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	-	-	0.01		小児科	流行性耳下腺炎	10	0.48	0.75	
	咽頭結膜熱	14	0.67	0.65		小児科	RSウイルス感染症	18	0.86	0.45	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	1.05	1.07		眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.08	
	感染性胃腸炎	86	4.10	3.38		眼科	流行性角結膜炎	2	0.25	1.13	
	水痘	7	0.33	0.62		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	-	-	3.44		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.29	
	伝染性紅斑	9	0.43	0.22		基幹	マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.37	
	突発性発しん	10	0.48	0.46		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.02		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	8	0.38	1.51							

急増減 ↑ (赤) ↓ (青) 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↑ (黄) ↓ (青) 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↑ (白) ↓ (白) 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇄ (白) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	96	男性(30歳代)
5	アメーバ赤痢	1	8	男性(70歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	16	女性(60歳代)、男性(70歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
無菌性髄膜炎	発熱(40.0) 髄膜炎	0	男	2016/07/05	糞便	ハレコウイルス3型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.5) 咽頭炎	6	男	2016/06/27	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.8) 咽頭炎	0	男	2016/07/10	咽頭拭い液 糞便	コクサッキーウイルスA4型
その他の消化器疾患	嘔吐	1	男	2016/05/29	糞便	アデノウイルス3型
その他の消化器疾患	発熱(38.0) 血便	0	男	2016/07/07	糞便	ハレコウイルス1型
その他の発疹性疾患	発熱(38.0) パラ疹	0	男	2016/06/30	咽頭拭い液	ハレコウイルス3型
その他の疾患	発熱(39.2)	0	女	2016/07/01	咽頭拭い液 糞便	コクサッキーウイルスB5型
その他の疾患	発熱(39.6) 熱性痙攣	1	女	2016/07/04	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス
その他の疾患	発熱(40.0) 熱性痙攣	1	女	2016/07/07	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の疾患	発熱(39.4) 熱性痙攣	0	男	2016/07/09	咽頭拭い液 髄液 糞便	ハレコウイルス3型
その他の疾患	発熱(38.3)	0	不詳	2016/07/10	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載